

第Ⅲ章

下水道ビジョンの基本理念と基本目標

Ⅲ－１ 下水道ビジョンの基本理念

平成 23 年に策定した『湘南ふじさわ下水道ビジョン』では湘南ふじさわ下水道の『今まで、いま、未来へ…』を考え、基本理念を次のように定めています。

湘南ふじさわ 下水道ビジョン【基本理念】 ～湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道～

湘南ふじさわ下水道は、昭和 26 年から施設整備を開始し、約 60 年間、湘南ふじさわの安全、環境、暮らしを支えてきました
そして、いま、市民ひとりひとりが
湘南の輝く自然環境に育まれたまち ふじさわで
安全・快適に暮らせるために
また、未来の子供たちがより良い環境のもと
湘南ふじさわで暮らし、まちがより発展するために
『湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道』
を基本理念として
市民とのパートナーシップを高め
未来を考え、いま行動します

出典：『湘南ふじさわ下水道ビジョン』（平成 23 年）より



© 株式会社 湘南なぎさパーク

用語：

湘南ふじさわ 下水道ビジョン【基本理念】 ～湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道～

～ 今まで ～

昭和 26 年から整備を進め
下水道処理人口普及率約 94%に達しました。*

～ いま ～

汚水処理施設未整備区域
雨水整備の遅れによる浸水被害の発生など
下水道整備の課題は依然残されています。
また、地震対策などの安全度向上
施設の老朽化対策
人口減少下の安定経営など
下水道が取り組むべき課題は山積みです。



～ 未来へ ～

“いまも未来も住み続けたいまち
湘南ふじさわ” づくりのため
市民とのパートナーシップを高め
まちの安全、環境、暮らし・活力を
支え続ける必要があります。

**ひかり輝く未来へ
未来を考え、いま行動を！**

出典：『湘南ふじさわ下水道ビジョン』（平成 23 年）より

※下水道処理人口普及率の推移

長期ビジョン検討時点	H20 年度末	94.2%
第 1 期 A P 基準年	H22 年度末	94.5%
第 2 期 A P 基準年	H28 年度末	95.5%

Ⅲ－２ 湘南ふじさわ下水道の将来像

『湘南ふじさわ下水道ビジョン』の策定にあたって、平成 42 年度を目標年次とした将来像（下水道全体計画）を次のように設定しています。下水道全体計画は、都市計画や社会情勢変化等と合わせて、定期的に見直しを図るものですが、『湘南ふじさわ下水道ビジョン・第 2 期アクションプログラム』では現行の下水道全体計画（平成 22 年度見直し）に基づき、実施方針を設定します。



湘南ふじさわ下水道の将来像（下水道全体計画（H22 見直し）の考え方）

1) 計画目標年次

計画見直し時点（平成 22 年度）での残事業量・財政見通し等を考慮し、おおむね 20 年後の平成 42 年度を計画目標年次としています。

2) 計画区域

公共下水道計画区域は市街化区域と、市街化調整区域の一部からなります。市街化調整区域のうち、既存宅地等については浄化槽による整備との経済性・効率性の比較を行い、一部の区域を浄化槽整備推進区域としています。公共下水道計画区域は地形上、南部処理区、東部処理区、相模川流域処理区の 3 処理区に分けられます。

3) 計画人口

行政人口は計画見直し時点（平成 22 年度）の人口実績や各種推計及び関連計画値を考慮し、403,470 人（平成 42 年）と設定しています。また、下水道全体計画区域内人口は、行政人口から浄化槽整備推進区域人口 約 320 人を除く 403,150 人（平成 42 年）と設定しています。

4) 計画汚水量

計画汚水量は、家庭からの生活污水や、商店・事業所からの営業污水・工場排水などに分類されます。これらの汚水量は近年の節水傾向や今後予想される人口減少等を考慮し、実態に即した汚水量予測を行いました。

5) 施設計画

污水は辻堂浄化センター（南部処理区）、大清水浄化センター（東部処理区）と神奈川県柳島管理センター（相模川流域処理区）で処理します。

また、ポンプ場では污水や雨水を処理場や河川等に送水します。

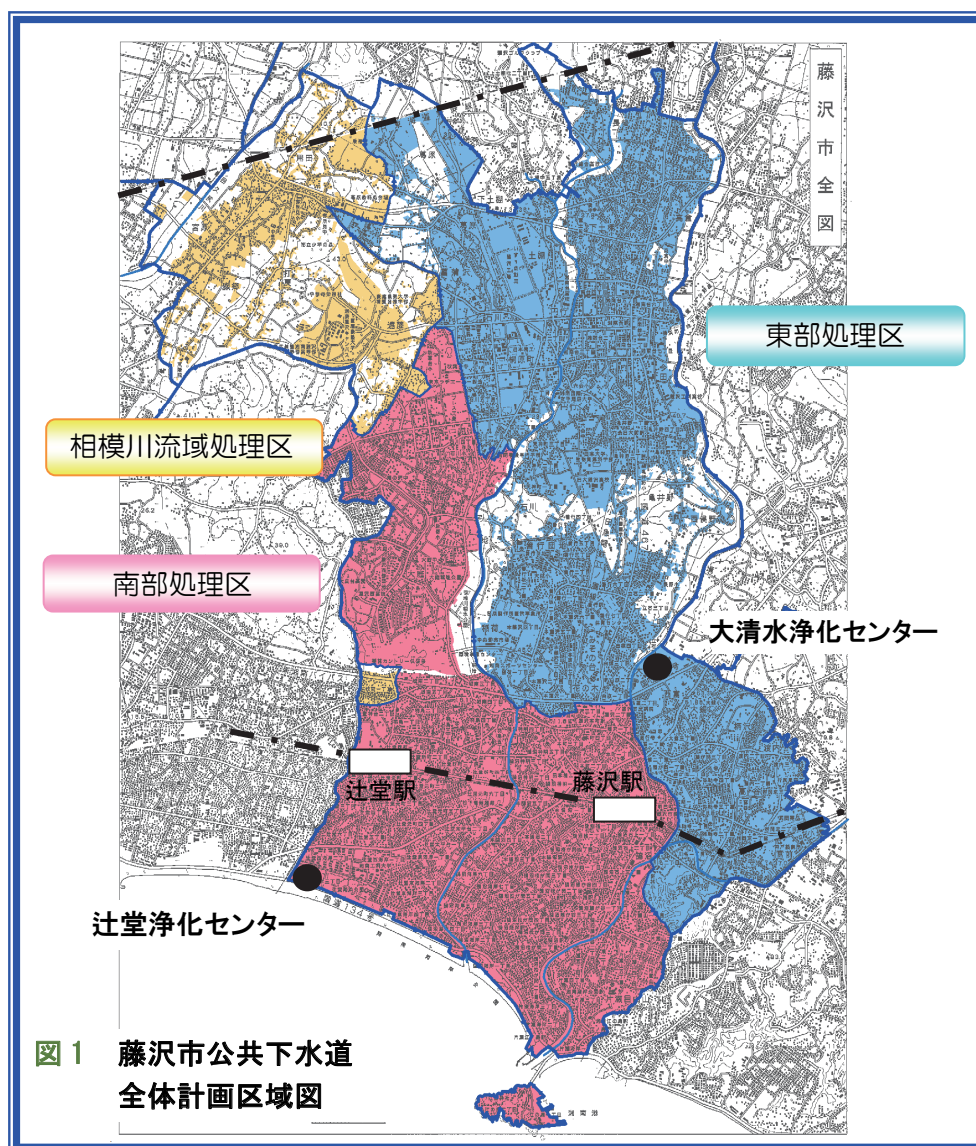
6) 雨水排除計画

雨水は雨水管渠を経由して境川や引地川などの公共用水域へ放流します。土地利用や降雨状況、浸水被害発生状況などに応じて、時間降雨おおむね 50～60mm（5～10 年確率）の雨に対応できる計画を策定しています。

用語： 計画汚水量、市街化区域、時間降雨、浄化槽、全体計画

表1 湘南ふじさわ下水道の将来像（下水道全体計画（H22 見直し））

	南部処理区	東部処理区	相模川流域処理区	藤沢市(計)
計画目標年	平成42年度			
排除方式	合流式 (一部分流式)	分流式	分流式	—
行政面積(ha)	2,434	3,379	1,138	6,951
下水道計画区域面積(ha)	2,385	2,775	595	5,755
計画行政人口(人)	199,800	185,410	18,260	403,470
下水道計画人口(人)	199,800	185,210	18,140	403,150
計画汚水量(m ³ /日)				
日平均	約88,100	約92,500	約9,600	約190,100
日最大	約123,100	約106,600	約11,800	約241,500
処理場	辻堂浄化センター	大清水浄化センター	柳島管理センター	—
処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	—



用語：日最大（計画汚水量）、日平均（計画汚水量）、標準活性汚泥法

Ⅲ－3 湘南ふじさわ下水道の基本目標

『湘南ふじさわ下水道ビジョン』では、基本理念「湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道」を受け、4つの視点（安全、環境、暮らし・活力、事業の継続性）ごとに基本目標及び基本方針を設定しています。

視点1：安全



基本目標：安全・安心なまちづくりへの貢献

- 基本方針 ⇒ 雨に強いまちづくりを進めます
⇒ 地震に強い下水道を目指します
⇒ 管路の老朽化による道路陥没事故を未然に防止します

視点2：環境



基本目標：湘南の自然環境との共生

- 基本方針 ⇒ 海・川のさらなる水質改善に努めます

基本目標：地域から取り組む地球環境保全

- 基本方針 ⇒ 温室効果ガス排出量削減に努めます
⇒ 資源・エネルギー循環の形成に努めます

視点3：暮らし・活力



基本目標：快適で潤いのあるまちづくりへの貢献

- 基本方針 ⇒ 汚水処理施設の早期整備で快適な生活環境を創造します
⇒ 良好な水循環の形成に努めます

視点4：事業の継続性



基本目標：自然・ひと・まちが共生する都市を

次世代につなぐ

- 基本方針 ⇒ 施設再生、管理の改善・効率化に努めます
⇒ 人口減少・財政制約に対し、経営基盤の強化に努めます
⇒ 市民とのパートナーシップを高めます

用語：

湘南ふじさわ 下水道ビジョン
 ~湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道~
 【4つの視点と基本目標・基本方針】



用語：